

「市川町立小学校統合の基本方針（案）」に関するパブリックコメント結果

実施期間	令和8年3月2日～3月16日
意見の提出方法	Eメール、FAX、郵送、持参
意見提出件数	4件

	ご意見等	町および教育委員会の考え方
1	<p>子どもたちには、安心して穏やかな環境の中で学校生活を送ってほしいと願っています。少子化等により小学校の統合の必要性が高まっていることについては理解しております。しかしながら、統合を2段階に分けて実施することには反対です。</p> <p>その理由は、瀬加小学校と川辺小学校の2校の児童に、生活環境や人間関係が大きく変化する機会が2回生じることになるためです。子どもにとって、校舎が変わらない場合であっても、学校の統合は転校と同じように友人関係や学校生活の環境が大きく変化する出来事であり、心理的な負担につながる可能性があります。とりわけ小学生の時期においては、人間関係の変化が子どもの安心感や学校生活への意欲に大きく影響すると考えられます。</p> <p>このような大きな環境の変化を2度経験させるよりも、時間をかけて十分な準備と交流を行い、一度の統合で新しい学校をスタートさせる方が、子どもたちの負担を軽減し、より安定した学校生活につながるのではないのでしょうか。</p> <p>また、新しい学校の在り方を検討する過程においても、統合時期に差が生じることで学校ごとの文化やこれまで大切にしてきた取組が十分に反映されない可能性があります。結果として、4校の統合後に学校文化の違いによる混乱やトラブルが生じることも懸念されます。その影響を受けるのも、最終的には子どもたちです。</p> <p>子どもたちの心理的負担をできる限り軽減し、地域の学校として多くの子どもたちが安心して通える新しい学校をつくるためにも、十分な準備期間を確保したうえで、令和13年度に4つの小学校が同時に統合し、1つの新しい小学校となることを希望いたします。</p>	<p>1. 環境変化による心理的負担について</p> <p>統合による環境の変化が、子どもたちの心理的な負担になるのではないかというご指摘は、教育委員会としても非常に重く受け止めています。子どもたちの健やかな成長を第一に考え、統合が子どもたちにとって「安心できるもの」となるよう、次の2点を進めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合前から学校間交流を実施</li> </ul> <p>今後の統合を意識した合同学習、校内交流行事などを定期的に行います。顔見知りの友人を増やし、新しい環境への心理的なハードルを下げる工夫を丁寧に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による心のケア</li> </ul> <p>統合の前後には、スクールカウンセラーによる相談体制を強化します。環境の変化に戸惑う子どもたちがいつでも悩みを相談できるよう、個別の面談や心のケアに重点を置いたサポート体制を整えます。</p> <p>2. 段階的な統合についての考え方について</p> <p>川辺小と瀬加小が先に統合することについては慎重に検討してまいりました。しかしながら、子どもたちがより多くの友人と関わり、適切な集団規模の中で切磋琢磨できる環境を一日も早く整えることが、教育上不可欠であると判断しています。統合は子どもたちの将来を見据えた「前向きなステップ」であり、その過程で生じる心理的な不安を最小限に抑えるため、保護者の皆様とも連携しながら、万全の支援体制を構築してまいります。</p>

2	<p>統合の基本方針では、令和11年度に川辺小学校と瀬加小学校を統合し、令和13年度に甘地小学校を統合するとなっています。一方で統合審議会の答申では統合を2回経験する児童がでてくるなど、児童への負担もあることから、段階的な統合はせず、4小学校を1度に統合することはやむを得ないとされています。</p> <p>小学校の統合は児童にとって非常に大きな負担となります。一定の集団性を確保するための統合はやむを得ないと思いますが、2年間という短期間では在学中に2度も統合を経験する児童が発生してしまいます。答申でも児童数の減少が加速する中で時間をかけて段階的に統合する時間的ゆとりはない旨も指摘されていますので、長期的に2段階での統合は不可能だと思います。さらに施設についても令和11年度に統合した場合、校舎の内装改修中に統合することとなり、統合によって環境が大きく変わる児童にとって、学び舎が変わるうえ、改修工事中となれば通常より大きな負担となり、落ち着いて学校生活を送ることが難しく、尚早であると感じます。早期統合を希望される方もいらっしゃいますが、一部の児童に負担が偏る統合は避けるべきであり、当初の基本方針通り、令和13年度に4小学校を1度に統合することを希望します。</p>	<p>1. 環境変化による心理的負担について (1と同様)</p> <p>2. 段階的な統合についての考え方について (1と同様)</p> <p>3. 改修工事による児童への配慮について 令和11年度の統合時の環境において、改修工事による騒音や安全面でのご心配があることは十分に理解しております。子どもたちが落ち着いて学校生活を送れる環境を確保することは、教育委員会としても最優先すべき事項です。工事期間中の不安を解消するため、工事エリアの厳格な区分けや、騒音を伴う作業を夏季休業中に行うことにより、教室内の学習環境を維持してまいります。</p>
3	<p>この度は、パブリックコメントの募集を広報に載せていただきありがとうございます。</p> <p>・小学校統合の基本方針等について（答申）の4章3（5）について 地域学校協働活動の導入について、町はどのような形をお考えですか。すでに実際に何か動き出していますか。地域住民として、どのように加われますか。</p> <p>（9）について、跡地利用の計画の検討について、どのように考えているのか。地域住民との話し合う場を設ける予定がありますか。アンケートなどの一方通行なやり取りではなく、対話を通じたやり取りをお願いしたいです。</p> <p>・統合に関して、情報を定期的に公開してほしいです。全町民が関心をもてるように、小学校通信のような形のものを発行して、進み具合をお知らせしてほしいです。</p> <p>今回の統合に関心をもつことで、市川町の町政が町民に対して閉鎖的であるように感じました。町民の関心の低さも感じました。</p> <p>市川町には、町の職員と町民が対等な立場で対話を通して両者が納得できるような話し合いの場がなぜないのでしょうか。町民参加型のまちづくりを進めてほしいです。そのための、職員のスキルアップもお願いします。まめに、情報を公開して</p>	<p>1. 地域学校協働活動について 地域学校協働活動は、学校と地域が連携・協働して子どもたちの学びや成長を支える非常に重要な取り組みです。まず、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し体制を整える必要があります。さらに、学校の運営方針に地域の意見を反映させる「コミュニティ・スクール」と一体的に運用することで、より組織的な活動を目指します。現在は他の自治体の事例を参考に方策を検討している段階にありますが、地域のボランティアの方々と連携した学習支援ができればと考えております。地域の皆様のご協力が何よりの支えとなりますので、引き続きご協力をお願いします。</p> <p>2. 跡地利用の検討について 統合方針の決定により、廃校となる校舎の跡地利用について早急に検討を進めますが、現時点では特定の用途に限定はしておりません。地域の方々のご意見や、民間事業者のアイデアを組み合わせ、防災機能、交流</p>

